



文責 本宮小校長 佐久間仁

夢の教室



JFA主催の「夢の教室」が開かれました。今回は「夢先生」として、ラクロスの林選手を講師にお迎えしました。子どもたちは夢先生と一緒に集団ゲームを楽しんだり、夢先生の生い立ちや経験談を聞いたりしました。自分の夢を言葉にすることは、夢へ近づく大きな力になるということを教えていただきました。一人一人が夢の実現に向かって頑張ってくれることを期待したいと思います。

「子どもたちの夢シートより」

〇ぼくは、サッカー日本代表になって、バロンドール（最優秀選手賞）を獲得したいです。そのためには、できるだけ毎日意識して、苦手なことも練習したいです。

〇私は、パン屋さんになって、みんなにパンを作ってあげたいです。

そのためには、今のうちから勉強をして、パン屋さんを見学したり、色々な料理を作ったりしたいです。



学校評価アンケートⅣ

◎学習支援について



「生活科や家庭科での補助やゲストティーチャーなど、保護者をお願いしてもよいと思う。保護者も先生方と一緒に子どもたちの成長に携わることができると思う。」

◇前向きで、建設的なご意見をいただき、ありがとうございます。

今年度は、二年生の生活科まち探検において、保護者ボランティアの皆様に見守っていただきました。二十名近くの皆様にご協力をいただき、子どもたちも安心して活動することができました。また五年生の家庭科ミシンの実習では、地域ボランティアの皆様の実習の補助をしていただきました。ただ、活動のすべてを

◎制服について



地域の方をお願いすることはできないので、保護者の方にも見守っていただけると大変助かります。次年度は、保護者による「学校支援ボランティア」を募集します。給食指導補助、校舎内清掃などをお願いする予定です。子どもたちの成長をそばで感じていただけるよい機会にもなりますので、ぜひご協力をお願いします。

「指定帽子も制服も決して安いものではなく、その分質の良いものなので、サイズアウトして処分してしまうのはもったいない。学校の空き教室などに、着なくなった制服をシェアできるような場所があるとよいと思う。」

◇指定帽子については、衣料組合に問い合わせ、別のものに替えることができるか情報収集をしました。ただ、この物価高騰の折、同じ品質で手頃な値段のものを探すのは難しいということが分かりました。学校としては、指定帽子も含めて制服という考えですので、今後もし引き続き今のものをお使いいただくようになります。ご意見の中にあつた不要になった帽子や制服のシェアですが、何人かの保護者に聞いたところ、兄弟でお下がりしたり、知人同士でお譲り

◎PTA活動について



したりしている方が多いということも分かりました。ただ、確かにご家庭のタンスの中で眠っているものもあるかもしれませんので、さらに情報を集めて、実現可能かどうかを検討したいと思います。

「本一中は、来年度から本部役員しかおかない。日和田小は保護者会がなくなったか？昨今の核家族、共働きの増加等を鑑み、大幅な役員減やPTAのあり方などを見直す時期だと思う。」

◇PTAのあり方については、昨年度から保護者アンケートを実施し、検討を重ねてきました。その結果、次年度からメディア委員会とカルチャー委員会を廃止するとともに、学年PTA委員の数を見直し、全体として役員数を約半分に減らすことになりました。これにより、保護者の皆様が役員を務める回数も減らすことができるようになります。正式には二月のPTA総会で決議し、四月より運用することとなります。役員としての仕事は削減されますが、「すべては子どもたちのために」というPTAの理念は引き続き大切にしていきたいと考えます。保護者の皆様には、子どもたちの健やかな成長のため、学校の教育活動に対して引き続きご協力をお願いします。